

令和6年12月定例教育委員会会議録

令和6年11月25日 定例熊谷市教育委員会を市役所303会議室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、大石 聡一、加藤 道子、松島 佳代子、小林 敏宏

○ 出席事務局

教育次長	三友 孝二
参事兼学校教育課長	中谷 樹
教育総務課長	小暮 洋久
社会教育課長	小澤 信行
社会教育課中央公民館長	長島 千恵
社会総務課公民館施設担当副参事	島崎 盛弘
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主事	浅見 柚妃

13時30分 12月定例教育委員会開会

教育長から、令和6年12月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があり、本会議の会議録の署名人に小林委員が指名された。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

11月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

教育長から、議案第39号は、人事案件のため非公開とし会議録に載せない旨の発議があり、出席委員全員が賛成し非公開で行われることに決定した。

日程第1（報告第12-1号）寄附申出について

教育総務課長から、熊谷教育推進のためとして令和6年10月11日から令和6年11月10日までの期間、ふるさと納税が計6件金額にして20万500円の寄附申出をいただいたとの報告があった。

次に、戦争資料として市内代の矢嶋正幸氏より1万8千円相当の陶製手榴弾18個、美術品として東松山市の石川尚子氏より74万円相当の書や日本を12点、文学資料として、市内本石の加藤仙太郎氏より5万円相当の田山花袋の作品を、それぞれ熊谷図書館に寄附申出いただいたとの報告があった。

日程第1（報告第12-2号）12月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、12月の行事予定についてと、来年1月12日に立正大学熊谷キャンパススポーツキューブにおいて成人式を挙行し、成人式終了後に同会場

内で1月定例教育委員会を開催する予定であるとの説明があった。

次に、令和7年度の教育委員会開催日程案が提示され、定例教育委員会開催日は毎月第1火曜日を原則とし、市議会定例会の開催月である6月、9月、12月、3月は、前月の最終金曜日に設定したこと等が説明された。

日程第1（報告第12－3号）12月市議会定例会における教育委員会関連の議案等の概要について

教育総務課長から、12月市議会定例会における教育委員会関連の議案等について説明があった。

12月市議会定例会における教育委員会関連の議案等は3件あり、まず補正予算の歳出について、「小学校施設整備事業」は、令和7年4月から江南北小学校の校舎内へ定員40名の（仮称）第2江南北児童クラブが設置されることに伴い、駐車場に多くの送迎用車両が出入りすることが想定されるため、現在砂利敷の駐車場を舗装整備等するための経費を計上するもので、「文化創造館等維持管理経費」及び「スポーツ・文化村維持管理経費」は、さくらめいと、あすねっと、ピピア、くまびあの指定管理者から、電気料金等の価格高騰に伴い光熱水費の予算に不足が生じることが見込まれるとの申出があり、施設運営のため支援金を交付するものであるとの説明があった。

また、歳入について、「教育費寄附金」は、本年7月から9月までの期間熊谷教育推進のためとして寄附申出頂いた、ふるさと納税5件分計7万3千円を歳入補正するものであるとの説明があった。

また債務負担行為について、「小中学校校務用情報機器更新事業」は、教職員用のパソコンのリース期間が令和7年12月末までとなっていることやOSであるWindows10のサポートが令和7年10月で終了することから機器の更新が必要となっており、データセンターの立上げや機器・サーバ調達等の準備手続の期間を考慮すると今年度中に機器導入業者やリース業者を選定する必要があることから債務負担行為を設定するもので、「ICT支援員派遣業務」は、「小中学校 GIGA スクール構想事業」で令和7年度に配置する ICT 支援員について今年度中に業者選定から契約締結までの準備手続を完了する必要があることから債務負担行為を設定するもので、「小学校施設整備事業」は、（仮称）三尻地域会館の新設に伴い、三尻公民館東側にある児童クラブの送迎用駐車場が使用出来なくなることから三尻小学校のプールを解体しその場所への新たな駐車場の整備とプールと一体となっていた外トイレの改修工事を行うための債務負担行為を設定するもので、「小学校校舎大規模改造事業」及び「中学校校舎大規模改造事業」は、令和7年度に施工を予定する「熊谷東小学校」「佐谷田小学校」「荒川中学校」の建築工事、電気工事、設備工事について、適切な工期を確保するため、今年度中に契約手続を行う必要があることから、債務負

担行為を設定するもので、「中学校教師用教科書等購入事業」は、令和 7 年度に改訂される教科書や指導書について、現段階では購入単価が示されていないものの 1 件当たりの契約金額が 2 千万円を超える場合には、議会の議決が必要となることや、新年度開始早々には各学校への納品を完了する必要がある今年度中に発注等の契約手続を進める必要があることから債務負担行為を設定するもので、「熊谷文化創造館等指定管理料」及び「スポーツ・文化村指定管理料」は、いずれも令和 7 年 3 月 31 日をもって指定の期間が満了となるため、引き続き指定管理者に施設の管理を行わせるための指定管理料を債務負担行為として設定するものであるとの説明があった。

次に「工事請負契約の締結についての変更について」は、令和 6 年 6 月市議会定例会で議決を経て契約を締結し、9 月定例会において労務単価の引上げに伴う変更契約の議決を経て変更契約を締結した「熊谷市立玉井小学校教室棟中校舎改修建築工事」について、内壁塗料のアスベスト除去のための費用等が追加で発生することとなったため契約金額を変更するために議案を提出するものであるとの説明があった。

最後に、「公の施設の指定管理者の指定について」は、先ほどの補正予算でも述べたように文化創造館、大里生涯学習センター、江南総合文化会館及びスポーツ・文化村についていずれも令和 7 年 3 月 31 日で指定の期間が満了するため、引き続き現在の指定管理者である「公益財団法人 熊谷市文化振興財団」と「アイル・オーエンスグループ」を指定管理者として指定する議案を提出するものであるとの説明があった。

日程第 1（報告第 12－4 号）公民館再編の概要について

公民館施設担当副参事から、公民館活動の持続可能性確保及び活性化、公民館管理体制の適正化及び効率化等の目的のため、公民館運営審議会令和 6 年 2 月 28 日答申「公民館再編の基本的考え方について」を尊重し、全 35 館の公民館を、広域館 2 館及び地域館 7 館の計 9 館に再編する予定であるとの説明があった。

日程第 2（議案第 38 号）熊谷市公民館条例及び熊谷市公民館使用条例の一部改正について

中央公民館長から、熊谷市公民館条例及び熊谷市公民館使用条例の一部改正について説明があった。

本議案は、公民館再編及び施設マネジメント推進の一環として、奈良公民館の機能を令和 7 年度から農業活性化センターに移転し、それに伴い熊谷市公民館使用条例の定めから奈良公民館の項を削り、併せて合併時に誤って規定された中条公民館の項を削るものであるとの説明があった。

(議案は、原案どおり可決)

(その他) 後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、令和6年10月16日から令和6年11月15日までに後援等承認決定した事業が10件あったとの報告があった。

(その他) ハートフルセミナー開催の案内について

社会教育課長から、様々な人権問題の解決を目的に例年開催しているハートフルセミナーについて、本年度も全3回開催を予定しており、1回目は埼玉県人権・男女共同参画課の高橋厚裕氏による同和問題を中心とした講演を、2回目は株式会社情報文化総合研究所代表取締役佐藤佳弘氏によるインターネットと人権侵害と題した講演を、3回目は熊谷市教育委員会社会教育指導員、坂上正明氏による「子どもの人権」をテーマとした講演を予定しているとの報告があった。

日程第2 (議案第39号) 非公開

(議案は、原案どおり可決)

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和6年12月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

(14時00分 閉会)

署名

教育長 野原 晃

委員 小林 敏宏